

南日本新聞

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	1	2

2月22日(金)

旧暦1月13日 先勝

発行所: (郵便番号890-8603)
鹿児島市与次郎1丁目9番33号

南日本新聞社

電話 099-813局

社会部 5124 政経部 5116

文化部 5136 運動部 5151

地域報道部 5144 写真部 5155

広報部 5172 論説委 5101

ひろば・読者室 5110

NIE支援・読者センター 5004

フォトサービス 5003

広告営業本部 5063

販売推進本部 5040

事業本部 5052

経営企画局 5030

総務部 5001

奄美の森100ヘク買収

東京の環境保護団体「開発から自然守る」

世界自然遺産の候補地になっている奄美大島の自然を開発から守るため、環境保護団体の日本ナショナル・トラス協会(東京)が、天然記念物アマミノクロウサギなど多くの希少種がすんでおり、環境調査やエコツアーの場として活用する計画だ。

奄美大島を含む鹿児島、沖縄両県の島々には「奄美・琉球」の名で世界遺産登録を目指す。環境省は国立公園などの保護区を定める準備を始めたが、実現には時間がかかる。協会の関係事務局長は「規制の網がかからない民有地は乱開発の恐れがある。自然を守り、生かすことで地域活性化のきっかけになれば」と話している。



森は協会の基金で1月10日に取得した。3月4日から6月にかけて「アマミノクロウサギ・トラスト・キャンペーン」を実施、出資額に相当する2千万円を目標に企業や個人から寄付を集める。28の区画に分けられた森には寄付金額が決められ、協賛する企業や個人は区画に名前を付け、案内板に表示できる。うち1区画は「みんなの森」と名付け、任意額での寄付を受け付ける。

「奄美・琉球」は1月、各国の候補を集めた国連教育科学文化機関(ユネスコ)の暫定リストへの掲載が決定。登録が決まれば白神山(青森県、秋田県)や屋久島などに続く国内5カ所目の世界自然遺産になる。アマミノクロウサギの生息数は2千〜4千匹(2003年推定)に減っており、外来種対策を含めた生態系保護が課題になっている。

地元のNPO法人、環境ネットワーク奄美の蘭博明代表は「奄美の生態系を守る運動に

全国の人が協力してくるとありがたい。地元での保護活動と運動して、世界遺産登録につなげたい」と話した。日本ナショナル・トラス協会(03(5979)8031)の保全に有効で歓迎する。地域の伝統文化を踏まえ保全管理を進めてほしい」と話した。